

令和5年4月21日

株式会社新興出版社啓林館

AI チューター・ゼロ利用規約 改訂のお知らせ

このたび、AI チューター・ゼロ利用規約の一部を改訂することになりました。

改訂日

令和5年4月28日

改訂後の利用規約は下記をご確認ください。

AI チューター・ゼロ利用規約

第1条（サービス名）

「AI チューター・ゼロ」とは、株式会社新興出版社啓林館（以下「当社」といいます）が提供する生徒向け学習サービス及び教員向け管理ツールを総称したものです（以下「本サービス」といいます）。

第2条（規約の適用）

- AI チューター・ゼロ利用規約（以下「本規約」といいます）は、本サービスの利用者（以下「ユーザー」といい、第4条第1項に定義します。本条において以下同じ）や申請者（第4条第2項に定義します。本条において以下同じ）と当社との間の本サービスの利用に関わる一切の関係に適用され、ユーザー、申請者及びこれらの者が所属する学校その他の教育機関（以下「所属機関」といい、所属機関に所属する教員を「所属教員」といいます）と当社との間の契約を構成するものとします。
- 当社が本サービスで提示する別途の規約及び諸注意等が存在する場合には、当該規約及び諸注意等はそれぞれ本規約の一部を構成するものとします。

第3条（個人情報）

当社は、本サービスの利用に関連して知り得た申請者及びユーザーの個人情報を、「個人情報の保護に関する法律」その他関連諸法令の他、別途当社が定める「個人情報の取扱について」に基づき適切に取り扱います。

第4条（ユーザー登録）

1. 「ユーザー」とは、当社所定の方法により、本サービスの利用に必要な当社所定の情報の登録（以下「ユーザー登録」といいます）が完了した者をさします。ユーザー登録が完了していない者は、本サービスを利用することはできません。
2. 「申請者」とは、本サービスの教員用管理ツールの利用を希望する所属機関及び所属教員であって、当社所定の方法によりユーザー登録を申請した者をさします。ユーザー登録は、当社がかかる申請を承認することによって、完了するものとします。
3. ユーザー、所属機関及び申請者は当社に対し、ユーザー登録の際に入力した情報の内容（以下「登録内容」といいます）の正確性について保証するものとし、登録内容に誤りが判明したり変更等が生じたりした場合には、速やかに当社所定の手続に従い、登録内容を修正するものとします。
4. 当社は、申請者又は申請者に係る生徒や所属教員に以下の事由があると判断した場合、本サービスの提供を行わない場合があり、その理由については一切の開示義務を負わないものとします。
 - (1) ユーザー登録に際して虚偽の事項を入力した場合
 - (2) 本規約に違反したことがある場合
 - (3) その他、当社がユーザー登録を相当でないと合理的に判断した場合
5. ユーザーは、自己の責任において、本サービスの利用に必要なユーザーID（メールアドレス）及びパスワード（以下「アカウント情報」といいます）を管理するものとし、いかなる場合にも、アカウント情報を第三者（他のユーザーを含みます）に譲渡又は貸与することはできません。
6. 当社は、ユーザーID とパスワードの組み合わせがアカウント情報と一致してログインされ、本サービスが利用された場合、当該アカウント情報を登録しているユーザー自身による利用として取り扱います。
7. 所属機関及び所属教員が、生徒であるユーザーによる本サービスの利用に係る進捗管理を行うために必要な情報（以下「連携情報」といいます）を教員向け管理ツールと連携することにつき、当該ユーザーが当社所定の方法により同意した場合、所属機関及び所属教員は、当社所定の手順に従い連携情報を閲覧その他の方法により利用できるものとします。この場合、所属機関及び所属教員は、自己の責任において当該連携情報を管理するものとします。

第5条（禁止行為）

1. ユーザー、所属機関、所属教員及び申請者は、本サービスの利用にあたり以下の行為又は以下の行為に該当する恐れのある行為をしてはならないものとします。
 - (1) 著作権、著作者人格権、商標権、肖像権、プライバシー権、パブリシティ権その他の第三者の権利又は利益を侵害する行為

- (2) 個人や団体を誹謗中傷する行為
 - (3) 法令、公序良俗に反する行為、又はそのおそれがある行為
 - (4) 当社が本サービス上で提供する各種サービスを不正の目的をもって利用する行為
 - (5) 本サービスの運営を妨げる行為、又は当社の信頼を毀損する行為
 - (6) その他当社が不適切・不相当であると判断した行為
2. 当社は、ユーザー、所属機関、所属教員又は申請者が前項に掲げる行為を行ったと合理的に判断した場合、事前に通知することなく、本サービスの利用を停止することができるものとします。

第6条（サービスの一時的な停止、中断、変更、終了）

1. 当社は、本サービスの保守又は仕様の変更を行う場合、又はやむを得ない事由により本サービスの運営上一時的な停止が必要であると判断した場合には、ユーザー、所属機関、所属教員又は申請者への事前の通知をすることなく、本サービスの一時的な運営の停止を行うことができます。
2. 当社は、ユーザー、所属機関、所属教員又は申請者へ事前に通知することなく、本サービスが提供するサービス内容の変更、一時的もしくは長期的な中断、又はサービス自体を終了することができ、ユーザー、所属機関及び申請者はこれを承諾するものとします。

第7条（著作権等）

1. 本サービスを通じて提供されるすべての文章、画像、映像、音声、プログラム等のコンテンツに係る著作権等の知的財産権は、当社又はそれぞれの権利者に帰属します。
2. 本サービスの利用に伴い、ユーザーが投稿その他送信を行った文章、画像その他のデータについては、当社において、当社が本サービスを提供する目的に限り、無償で自由に利用（複製、翻案、改変、公衆送信（送信可能化を含みます）その他のあらゆる利用を含み、かつ第三者に利用を再許諾することも含みます）することができるものとします。

第8条（当社の免責）

1. 当社の損害賠償責任は、当社の故意又は重過失によるものを除き、現実に発生した直接の損害に限り、賠償の責任を負うものとします。
2. 当社は、本サービスの提供に不具合やエラーや障害が生じないこと、本サービスから得られる情報等が正確なものであること、本サービスを通じて入手できる役務、情報等がユーザーの期待を満たすものであることのいずれについても保証するものではありません。
3. 当社は、本サービスが全てのユーザーの端末に対応することを保証しません。

第9条（規約の変更）

当社は、必要と判断した場合には、民法第 548 条の 4 の規定により、ユーザー、所属機関、所属教員又は申請者に事前の通知をすることなくいつでも本規約を変更することができるものとします。

第10条（通知又は連絡）

ユーザー、所属機関、所属教員又は申請者と当社との間の通知又は連絡は、当社の定める方法によって行うものとします。

第11条（準拠法及び管轄）

本規約の準拠法は日本法とし、本サービスの利用及び本規約に関する一切の紛争は、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

令和 4 年 3 月 7 日 制定

令和 5 年 4 月 28 日 改訂